

## モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2021年5月28日

**CFM 政策会合: シーラ・スミス博士(米外交問題評議会日本担当シニア・フェロー)を迎えて**  
マンズフィールド財団は4月28日に、米外交問題評議会(CFR)の日本担当シニア・フェローで日米関係専門家の第一人者であるシーラ・スミス博士を迎えて[コーポレート・フレンズ・オブ・マンズフィールド\(CFM\)](#)オンライン政策会合を行った。スミス博士は、4月16日に行われた菅首相・バイデン大統領による日米首脳会談の成果について自身の見解や、コロナウィルス感染症や地域における中国の態勢、また北東アジアにおける軍縮問題など様々な分野における日米協力の今後の展望について語るとともに、財団の会員企業参加者からの質問に応じた。

### 第10回日米宇宙フォーラム開催: 新旧日米政権の宇宙政策や宇宙の商業化について議論

4月27日から29日の3日間にかけて、第10回目となる[日米宇宙フォーラム](#)が開催された。日米宇宙フォーラムは、米国と日本の宇宙政策専門家と当局者により組織されている常任委員会(共同議長はマンズフィールド財団・フランク・ジャヌージ理事長、ワシントン大学ヘンリー・M・ジャクソン国際学部・サーディア・ペッカネン教授、慶応義塾大学大学院法務研究科・青木節子教授)であり、2国間及び多国間で行われる重要な宇宙開発や宇宙関連の活動の機会の考察を行う。本会合は、昨年8月の第9回目に続きオンラインで開催された([過去の会議](#))。初日はフォーラムメンバーがそれぞれの専門分野に係る前回会合からの進展や現在の取り組みなどを共有し、2日目は、トランプ大統領と安倍首相による日米前政権の下での宇宙政策の主要な変更を振り返るとともに、バイデン大統領と菅首相による現日米政権への宇宙政策への期待について議論した。また3日目は、宇宙の「商業化」へのインセンティブというテーマで、日米政府の支援の在り方の違いや商業化における二国間協力などについて議論された。

### <マンズフィールド財団 YouTube 公式チャンネル動画配信のご案内>

マンズフィールド財団主催で行われたオンラインイベントの動画配信を財団 YouTube 公式チャンネルより配信しておりますので、ぜひご覧ください。

2021年3月24日実施

#### 宇宙政策における日米協力

##### [U.S.-Japan Cooperation on Space Policy](#)

パネリスト:

サーディア・M・ペッカネン博士 (ワシントン大学 教授及び宇宙政策研究センター創設・共同ディレクター)

ロン・ロペス氏 (アストロスケール US Inc. 社長兼マネージングディレクター)

モデレーター:

フランク・ジャヌージ（マンスフィールド財団理事長兼 CEO）

※本パネルディスカッションは在米日本国大使館のご支援で行われた「世界における日米協カウ  
ェビナー・シリーズ」の一環のイベントです。

2021 年 4 月 15 日実施

**大使経験者らによるラウンドテーブル「インド太平洋からみたアメリカの民主主義」**

[Views on American Democracy from the Indo-Pacific: An Ambassadorial Round Table](#)

パネリスト:

佐々江賢一郎 元駐米日本大使(日本国際問題研究所理事長兼所長)

チャン・ハン・チー 元駐米シンガポール大使(シンガポール外務省特使)

ノンヌー・ペチャラタナ 元駐豪・駐独タイ大使(元タイ外交官)

モデレーター:

フランク・ジャヌージ(マンスフィールド財団理事長兼 CEO)

※バイデン政権下での外交やアジアにおける価値観外交に基づく米国の役割などをテーマに、大  
使経験者によって行われたパネルディスカッションです。

## <マンスフィールド・フェローシップ・プログラム同窓生近況報告>

[English follows Japanese](#)

### ●パトリア・スロス(Patricia Sloss) 第 22 期マンスフィールドフェロー(2017 年-2018 年)

米国国防総省 在日米軍沖縄事務所 政務連絡官



第 22 期マンスフィールドフェロー(2017-2018 年)として研修終了後、元の  
所属先である在日米軍沖縄事務所に復職しました。在日米軍は、インド・  
太平洋地域の平和と繁栄、自由の礎である日米同盟の任を担っています。  
司令部は日米両政府機関と連携して攻撃的態度の抑止、防衛協力の促  
進、及び危機的状況や不測の事態の対応条件を設定し日米同盟を支援し  
ています。私の部署は、沖縄県所在の在日米軍の支部で、米軍人や職員  
の半数以上がそこで働いています。沖縄は、日本の防衛において重要な  
役割を果たしているだけでなく、地域の安定を向上させるための幅広い役

割を担っています。地域の敵対的行為による安全保障上の脅威が高まる中、沖縄は今まで以上  
に戦略的に重要になってきています。

政務連絡官として、私は日米の同盟管理を担当しています。状況分析を行い、日本政府や沖縄  
県庁、軍の諸部局に関わる政治及び軍事問題について信頼性ある助言を軍幹部に行っています。

また日米双方の立場で地方政府と中央政府の利害関係の橋渡しを行い、沖縄における米軍の持続的かつ効果的なプレゼンスのため、作戦上の要件や安全保障上の配慮、地元市民の懸念の均衡を図ることに努めています。

マンズフィールドフェローとして派遣された防衛省や外務省、海上保安庁での研修は、他に類をみない貴重な経験で、日米両国の幅広い関係に対する私の視点を広げてくれました。派遣先の省庁で、日本の同僚たちと一緒に働きながら、二か国同盟のイニシアチブや沖縄の基地問題が国家レベルでどんなに複雑に扱われているかをより深く理解できるようになり、また日本政府内での政策決定過程についての見識を高めることができました。さらに、衆議院議員の中谷元先生（自民党）や井上一徳先生（当時希望の党、現在は国民民主党所属）、また参議院議員の山本一太先生（当時自民党、現群馬県知事）といった国会議員事務所での研修は、国会議員が関連省庁とどのように意思疎通しているのか、また政策策定における国会の役割を自らの目で見て学ぶことができる貴重な機会でした。研修を通して得た知識や経験は、幹部がデリケートな沖縄に関する同盟管理問題について意思決定をする際に参考となる状況的視点を助言するのに役立ってきました。

沖縄に米軍基地が集中しているため、当地における米軍の活動への懸念はとりわけ深刻です。そのため、地域の懸念をよりよく理解するため、米軍が日本の地方政府や中央政府の上層部とオープンな対話を維持することは極めて重要です。マンズフィールドフェローとして研修中に培ってきた個人的また仕事上での人的ネットワークは大変貴重で、今でも当時の同僚の何人かと米軍に関する幅広い話題について率直な議論を交わすこともあります。

マンズフィールドフェローとしての一年を振り返り、このような唯一無二の機会を与えてくださっただけでなく、日米同盟の発展に貢献する私の力量を高めてくれたマンズフィールド財団と日本政府に対して心より感謝いたします。

#### **Patricia Sloss, MFP 22 (2017–2018)**

##### **Political Liaison Specialist, Okinawa Area Field Office, U.S. Forces, U.S. Department of Defense**

Following my Fellowship as the 22nd Class of Mansfield Fellow (2017–2018), I returned to the United States Forces, Japan's Okinawa Area Field Office, where I had been prior to my Fellowship. The United States Forces, Japan manages the U.S. – Japan Alliance, the cornerstone of peace, prosperity and freedom in the Indo-Pacific region. The command, in concert with the Japanese and U.S. Government agencies, supports the U.S.–Japan Alliance by deterring aggression, promoting defense cooperation, and setting conditions for crisis or contingency response. My office is a branch office of Headquarter, U.S. Forces, Japan and is located in Okinawa Prefecture, where over half of the U.S. forces personnel are located. Okinawa plays a significant role in the defense of Japan and a wider role in enhancing regional security. Growing security threats from

regional adversaries only make Okinawa more strategically important.

As Political Liaison Specialist, I am involved in alliance management between the United States and Japan. I am responsible for providing analysis and trusted counsel to senior military leaders on political-military issues with the Government of Japan, Okinawa Prefectural Government, and military agencies. I bridge local and central government interests on both the U.S. and Japanese sides to ensure balance in operational requirements, security considerations, and the concerns of local citizens for a sustained and effective presence of U.S. forces on Okinawa.

The fellowship placements at the Ministry of Defense, Ministry of Foreign Affairs, and the Japan Coast Guard provided me with unique and invaluable experiences, which expanded my perspective on the broader relationship between Japan and the United States. Working alongside Japanese colleagues in the ministries, I developed a better understanding of how complex bilateral alliance initiatives and Okinawa base issues are addressed at the national level and gained insights into the policymaking processes within the Government of Japan. Additionally, the opportunity to work in the office of three Diet members; House of Representatives' Gen Nakatani-sensei (Liberal Democratic Party), Kazunori Inoue Sensei (Party of Hope) and House of Councilors' Yamamoto Ichita-sensei (LDP, now Governor of Gunma Prefecture) provided me with unique opportunities to witness the lawmakers' interactions with the Japanese government ministries, as well as the National Diet's role in policy formulation. The knowledge and experience I gained through these placements has helped me offer contextual perspective to help guide leadership decision making on sensitive alliance management issues concerning Okinawa.

Concerns about U.S. military operations are particularly acute in Okinawa due to the concentration of U.S. forces on the island. Therefore, it is vital for the U.S. forces to maintain open dialogue with the central and local government leaders to better understand community concerns. The network of personal and professional relationships that I developed during the Fellowship have been invaluable as I interact with some of the same colleagues, allowing me to have candid discussions with them on wide range of topics related to the U.S. forces.

As I reflect back on my year as a Mansfield Fellow, I am truly grateful for the Mansfield Foundation and GoJ for affording me this unique opportunity and enhancing my ability to help promote the U.S.-Japan Alliance.

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 日本語ホームページ](#)



**THE MAUREEN AND  
MIKE MANSFIELD FOUNDATION**

*Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations*

 [Facebook](#)

 [Twitter](#)

 [Email](#)

 [Support](#)